

電源運用管理パッケージ「PMAN」1万本の販売を達成

—急な停電時にも、簡単、確実、安全にシステムの起動、停止ができます—

株式会社富士通アドバンスソリューションズ(代表取締役社長:広西 光一、本社:神奈川県横浜市、略称FASOL)の電源運用管理パッケージ「PMAN(ピーマン:Power MANager)」はこのほど、1万本の販売数を達成いたしました。1994年の発売開始より、多くのお客様にご好評をいただいております。

「PMAN」は複雑なシステムの起動と停止手順を簡略化することで、UNIXサーバの電源に関する運用管理業務を大幅に軽減させ、簡単、確実、安全にシステムを起動、停止させることができるソフトウェアです。更に、UPS^(*1)との連携機能により、急な電力低下や停電時にはシステムの自動停止を行い、システム破壊の危険から守ります。本製品の導入には、複雑な設定が不要なので、ご購入いただいたその日からご利用いただけます。

「PMAN」は(株)FFC製品^(*2)「電源制御ボックス(F7791PWシリーズ)」と連携して動作するSolarisを搭載するUNIXサーバ向けソフトウェアです。当社および富士通株式会社より販売しております。

【「PMAN」の特長】

1. スケジュール機能

予めスケジュールリングされたシステムの起動と停止時間に従って、電源の自動運用を行います。電源運用が無人で行えるので、ミスによるリスクの回避と省力化が図れます。スケジュールリングは曜日、月日の指定が可能です。勿論、当日変更にも動的に対応でき、業務にあわせた柔軟な運用が可能です。

2. 電源制御機能

起動の順番や起動タイミングが複雑な周辺機器(RAIDディスク装置、他)を含む、システムの電源投入、切断が「ボタン一つで」実行できます。また、LANを経由したサーバ群の電源投入、切断も「ボタン一つで」操作できます。

3. 利用者プロセス^(*3)連携機能

システムの起動と停止時、および停電発生や復電時に、利用者が登録したプロセスを実行します。これにより、業務処理を含めた柔軟なシステム運用が可能になります。

4. UPS連携機能(UPS接続時に有効)

停電発生時には、予め登録された利用者プロセスを自動起動した後、システムの自動停止を実行し各機器の電源を切断することで、停電時にシステムが破壊される危険を回避します。また、復電時には登録された利用者プロセスを自動起動し、オペレーションミス等による復旧リスクを回避します。

【価格(税別)】

・PMAN/L 94,000円

【動作環境】

- ・OS : Solaris™ 9 Operating Environment
- ・必須ハードウェア : 電源制御ボックス(F7791PW4) ※(株)FFC製品

【用語説明】

- *1: UPS(Uninterruptible Power Supply)
無停電電源装置。バックアップ用の電池を内部に持ち、停電時でもシステムをそのまま稼働できるようにする装置。
- *2: (株)FFC製品
詳細は、(株)FFCへご確認下さい。
株式会社FFC(エフ・エフ・シー)
<http://www.ffc.co.jp/>
- *3: 利用者プロセス
システム上でユーザが動作させたい処理(シェルまたはプロセス)。

【商標について】

記載されている製品名などの固有名詞は、登録商標です。

以上

●本件に関するお問い合わせ先

株式会社富士通アドバンスソリューションズ
システム本部)ソリューションビジネス事業部)第二システム部
電話: 045-438-2224
E-mail: pman-ml@fasol.fujitsu.com
